

「草花」シラバス

科目	草花	年 次	3	教科書	草花	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

1. 学習目標

草花の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

2. 主な学習内容

- (1) 草花生産と消費の動向 (2) 草花の特性と栽培技術

栽培作目

前期：ニチニチソウ、

後期：ベゴニア、ゼラニウム

通年：小菊（懸崖仕立て）、観葉植物（ヒメモンステラ、パキラなど）

3. 授業の進め方

- (1) 基本的には連続した2単位の授業を行い、座学と実習を組合せた形態で行います。
- (2) 座学では教科書の内容と平行しながら、実際に行った実習での記録・データ整理を行う。
- (3) 実習では校内圃場及び温室において栽培に関する学び、また、観察や調査・実験等を行う。
- (4) 実習は作目の成長によって、一斉に行う場合と5～6名のグループを組んで行う場合がある。
- (5) 実習時の服装は、実習にふさわしい服装（スカート等は不可）及び履物（サンダル・草履等は不可）とする。

4. 評価の観点

評価の観点	内 容	評価方法
関心・意欲・態度	・実習等を主体的に行い、その内容について意欲的に取り組む態度であるか。 ・班員同士で話し合いを行っているか。	学習用具の準備 授業への取り組み状況や態度
思考・判断	・観察記録や調査資料をまとめることができる。 ・比較栽培の結果の検討ができる。	観察記録のまとめ
技能・表現	・栽培の基本的な技能が身についているか。 ・各種農機具の取扱が適切に行うことができる。 ・肥料や薬剤を適切に使用することができる。	栽培技術習得 農機具の取扱 肥料の取扱 薬剤の取扱
知識・理解	・栽培に関わる技術や栽培環境について理解を深め、それに関わる専門用語を活用できる。	定期考查 小テスト

5. 評価の方法

定期テスト、学習態度、提出物等を総合的に評価し、成績とします。

6. 学習計画

学期	月	時数	単元名	学習内容	学習のねらい
前期	4	6	草花園芸の特徴	・草花園芸の種類 (1)植物学的分類 (2)園芸的分類	・植物学的分類と園芸的分類について理解する。
	5	6	草花生産と消費の動向	・草花生産の動向 ・消費の動向 ・流通のしくみ (1)現在の流通の実態 (2)流通機構の役割	・草花の生産が多い種類と消費者が消費をする時期を理解する。
	6	8	前期中間試験	・流通の国際化 (1)国際商品としての草花 (2)わが国における草花の輸出入	・草花の流通のしくみと国際化が可能になった背景を理解する。
	7	6	鉢花	・花木類(ブーゲンビレア他)の特性及び栽培技術。	・花木類の特性、栽培技術について理解する。
	9	8	草花の生育と環境	・草花の一生 ・根の成長と養水分の吸收 ・シートの成長と光合成 ・花芽分化と発達 ・生育開花調節と作型	・草花の生育の様子や形態の変化を理解する。
	10	6	ラン科植物	・ラン科植物の特性と栽培技術 (テソファレ他)	・草花の成長と環境要因との関係を理解する。
	9	8	品種改良と繁殖	・品種改良の目的 ・品種改良の手順と方法	・ラン科植物の特性、栽培技術について理解する。
	10	4	前期期末試験	・種子繁殖 ・栄養繁殖(1)さし木(2)つぎ木(3)取り木(4)株分け(5)分球	・草花の品種改良の目的と方法について理解する。
	10	4	鉢花	・宿根草(キク)の特性と栽培技術	・草花の繁殖方法と繁殖技術について理解する。
後期	10	6	多肉植物	・多肉植物の特性と栽培技術	・宿根草の栽培技術を理解する。
	10	6	草花の多面的利用	・草花利用の意義 (1)社会利用の意義 ・草花の利用 (1)切り花の利用 (2)鉢物の利用 (3)花壇用草花の利用 ・ヒューマンサービスと草花 (1)園芸療法	・草花が生活場面でどのように利用されているか理解する。 ・切り花・鉢物・花壇苗の用途について理解する。 ・草花の多面的な利用について理解する。
	11	8	園芸デザイン	・園芸デザインと草花の装飾的特性	・草花の装飾的特性を理解する。
	11	8	後期中間試験	・園芸デザインの基本 ・園芸デザインの実際	・フラワーアレンジメントやコンテンガーデンの手法を理解する。
	12	8	草花の生育と栽培技術	・草花の生育と土・水・肥料 (1)栽培に適する土 (2)肥料 (3)かん水 (4)養液栽培	・草花の生育環境と適切な栽培技術について理解する。
	1	2	後期期末試験	・草花の栽培管理 (1)草姿と品質 (2)草姿と栽培管理 (3)化学調節 (4)病害虫の防除 (5)雑草の除去	・草花の品質と草姿、その栽培管理と調節方法について理解する。
	3	16	観葉植物	・観葉植物(アンスリウム他)の特性と栽培技術	・観葉植物の特性や栽培技術について理解する。
合計	76		生産施設と栽培環境の調節	・施設の機能・構造とその利用 (1)生育環境と施設の必要性 (2)温室・ハウスの形式と構造	・温室やハウスの施設・設備と資材の特徴について理解する。
			草花経営の改善	・環境調節設備の利用 (1)温度の調節 (2)光の調節 ・複合環境制御 (1)環境管理作業のコンピュータ化 ・生産の課題と改善 (1)生産コストの低減 (2)栽培管理の合理化 ・流通の課題と改善 (1)品質管理の課題 (2)流通の合理化と販売戦略	・施設・設備を使用した栽培管理技術について理解する。 ・栽培管理作業のコンピュータ化について理解する。 ・草花生産の問題点・改善点について考える。 ・草花生産と流通の問題点・改善点について考える。